

総会 会長あいさつ

代理 副会長 野元 俊江



皆さんこんにちは、会長のご家族にご不幸がありました。会長が出席できませんので、皆様にくれぐれもよろしくとのことでした。代わりましてわたくし副会長、野元がごあいさつ申し上げます。

本日は公務ご多忙の中、熊本市文化市民局 局長 横田健一様にご臨席賜り、心から厚くお礼申し上げます。

また、会員の皆様方もコロナ禍の中、そしてご多用の中にご参加頂き、誠に有り難うございます。

一昨年度、昨年度と2年続けてコロナ禍により、熊本市子ども会育成協議会は、総会を初め、皆様方が期待しておられた事業をことごとく中止せざるを得ませんでした。まだまだ、新型コロナウイルス感染予防に油断は出来ませんが、こうして新年度のスタートが切れましたことを心から嬉しく思います。

特にこの2年間、単位子ども会の役員・会員の皆様方も、子ども会活動に大変ご苦労されたことと拝察いたします。多くの子ども会から市子協に、いろいろな相談が寄せられました。多くはコロナ禍における子ども会活動に関することでした。

この2年間で、子ども会活動のやり方はコロナ禍により一変しましたが、そこに新たな様々な工夫も生み出されました。各子ども会から市子協に寄せられた活動報告は、子どもたちに何とかして行事を楽しんでもらいたいと、育成会の皆様が子どもたちにかける愛情の深さ、熱意、ご努力によるものだと思います。

それらの様々な活動はピンチをチャンスと捉えての活動でした、それらを他の子ども会の皆様にも紹介し、それを参考にして子ども会活動を活性化させて頂きたいという思いで、ホームページを活用して参りました。併せて、色々な冊子や、パンフレットを作成して、皆様にお配りしています。どうぞこれらを利用して頂き、さらにご相談等が有りましたら、気軽に事務局にお寄せ頂きたいと思えます。子ども

会の発展と子どもたちの健やかな成長を願いつつ、子ども会活動の支援をすることが市子協の使命です。

地域の異年齢集団である子ども会活動は、家庭生活とも違う、学校生活とも違う、体験活動です。子どもたちが主体的に活動することにより、子どもたちが本来持っている、内に秘めた素晴らしい能力を引き出すことにもつながります。しかし、先ずは難しいことは要りません。例年通りでもいいのです。とにかく、何か活動をすることです。そしてその内、次第に工夫が生まれると思います。

市子協も本年度は例年の事業を復活いたします。皆さんとの絆を深めて活動したいと思しますのでご協力をよろしくお願いいたします。

本日はあとで、身近な内容の講演と情報交換会を予定しております。有意義な会になる事を期待しております。

最後になりましたが、皆様のご活躍と子ども会の益々の発展を祈念いたしました。ごあいさつといたします。本日は有り難うございました。

(令和4年6月5日)